



2024年7月31日

各位

会社名 大平洋金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 青山 正幸
 (コード番号 5541 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役常務執行役員 松山 輝信
 (TEL 03-3201-6681)

売上原価(棚卸資産の簿価切下げ額の戻入れ)の計上、営業外収益(持分法による投資利益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)において、売上原価として棚卸資産の簿価切下げ額の戻入れの計上及び営業外収益として持分法による投資利益を計上するとともに、最近の業績の動向を踏まえ、2024年5月10日に発表した2025年3月期第2四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)及び通期(2024年4月1日～2025年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

●売上原価(棚卸資産の簿価切下げ額の戻入れ)の内容

主にニッケル事業において、前連結会計年度は、棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)の収益性の低下が認められたため簿価切下げ額を売上原価へ計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間では、棚卸資産在庫の数量減少等に伴い売上原価へ簿価切下げ額の戻入れ2,025百万円計上(売上原価の減少)の見込みとなりました。

●営業外収益(持分法による投資利益)の内容

主にフィリピンの持分法適用関連会社において、堅調な需要に支えられ、当第1四半期連結累計期間におきまして持分法による投資利益852百万円を計上する見込みとなりました。

●業績予想の修正について

1. 2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2024年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 中間純利益 | 1株当たり 中間純利益 |
|----------------------------------|--------------|---------------|---------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) (2024年5月10日発表) | 百万円 6,641 | 百万円 △4,418 | 百万円 △2,376 | 百万円 △2,514 | 円 銭 △128.91 |
| 今回修正予想(B) | 7,248 | △3,687 | △1,261 | △1,346 | △69.02 |
| 増減額(B-A) | 607 | 731 | 1,115 | 1,168 | |
| 増減率(%) | 9.1 | — | — | — | |
| (参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期) | 8,083 | △6,194 | △2,487 | △2,611 | △133.90 |

2. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|---------------|---------------|---------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) (2024年5月10日発表) | 百万円 13,994 | 百万円 △6,838 | 百万円 △2,903 | 百万円 △3,252 | 円 銭 △166.76 |
| 今回修正予想(B) | 14,229 | △5,979 | △1,555 | △1,847 | △94.71 |
| 増減額(B-A) | 235 | 859 | 1,348 | 1,405 | |
| 増減率(%) | 1.7 | — | — | — | |
| (参考)前期実績(2024年3月期) | 15,521 | △9,114 | △2,119 | △1,074 | △55.10 |

3. 修正の理由

連結業績予想につきましては、中国における不動産市場の停滞、世界的な金融引き締め、中東やウクライナ情勢の緊迫化及びインフレ率の高止まり等の影響を受けて、依然不確実性が高い状態で推移しております。

当社フェロニッケル製品の数量面については、環境に大きな変化は見られず、収益性の観点から数量抑制の方針を継続しており、前回公表計画と同程度を見込んでおります。

損益については、フェロニッケル製品の販売価格面では、当社適用価格相場に加えて価格優位性が見られるニッケル銑鉄の価格も一部参考とした価格水準のため収入は一定程度抑えられ、また、調達価格面では、主原料であるニッケル鉱石価格及び原燃料や電力の価格は引き続き高水準で推移しているため、価格面で大きな影響を与えることが見込まれます。

その他では、棚卸資産簿価切下げ額について、前連結会計年度末から当連結会計年度末にかけて棚卸資産在庫の数量減少等に伴い簿価切下げ額の圧縮が進行することから、売上原価へ簿価切下げ額の戻入れ(売上原価の減少)が見込まれます。

このように、厳しい状況は継続しておりますが、こうした事業環境等への対応は、当社グループの中期経営計画において掲げる基本方針等で取り組む活動に合致しており、引き続き強く推し進めて参ります。

そのため、連結業績予想を前ページのとおり修正いたしました。なお、前提条件に関しましては以下(参考)前提条件の修正をご参照ください。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考) 前提条件の修正

| | 販売数量 (t) | | | 生産数量 (t) | | | 適用 LME ニッケル価格 (\$/lb) | | | 適用為替 (¥/\$) | | |
|------------------------|-------------|-------|-------|-------------|-------|-------|--------------------------|------|------|----------------|--------|--------|
| | 上期 | 下期 | 通期 | 上期 | 下期 | 通期 | 上期 | 下期 | 通期 | 上期 | 下期 | 通期 |
| 前回発表予想 (2024年5月10日) | 2,869 | 3,131 | 6,000 | 2,777 | 2,770 | 5,547 | 7.83 | 8.00 | 7.92 | 139.28 | 139.15 | 139.21 |
| 今回修正予想 | 3,074 | 2,926 | 6,000 | 2,475 | 2,770 | 5,245 | 8.08 | 8.00 | 8.04 | 151.61 | 149.17 | 150.42 |
| (参考)前期実績 (2024年3月期) | 3,052 | 2,973 | 6,025 | 3,210 | 2,825 | 6,035 | 10.78 | 8.42 | 9.62 | 140.18 | 148.85 | 144.46 |

以上